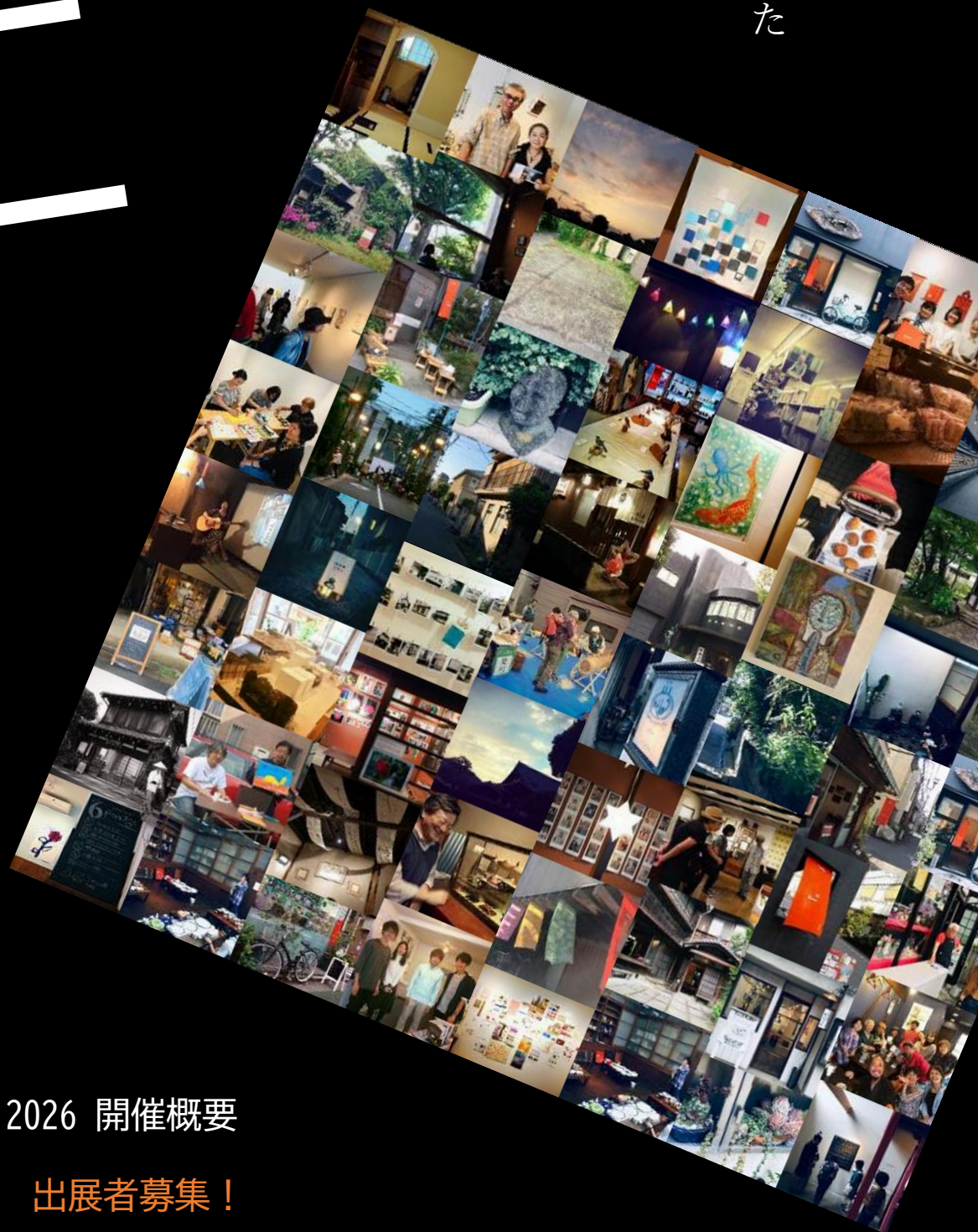


坂を歩いて、
まちの表現と出会いました

芸工展



第34回 芸工展 2026 開催概要

まちかど展覧会 出展者募集！

第34回 芸工展 2026 開催概要

1. 芸工展とは

芸工展は「まちの魅力の再発見と表現を通じた交流」を趣旨として催される地域活動です。

芸工展会期の10月は、谷中・根津・千駄木・池之端・日暮里界隈の地域に暮らす人、様々な職人、芸術家、アーティスト、まちの店主、学生等、一人ひとりが表現の場をまちなかで開き、緩やかにつながることで、まち全体が一つの展覧会場となります。

出展方法や会場も多様です。ギャラリーやカフェ、自宅での展示やワークショップ、工房開放、まちあるきや原っぱでのイベント、路上ライブなどなど、企画アイデア次第で無限の可能性が広がる展覧会です。

2. 第34回芸工展 会期： 2026年10月1日～10月31日

※まちかど展覧会の実施日は各出展者が企画ごとに期間を決定します。長期も単発もあります。

3. エリア： 谷中・根津・千駄木・池之端・上野桜木・日暮里界隈

4. 企画参加対象： 芸工展の主旨に賛同して、表現することを楽しむ人・グループ・店主など どなたでも

5. 参加申込期間： 2026年5月31日（日）～7月26日（日）まで

※申込方法の詳細は募集要項を参照ください。

6. 運営協力金： 出展1企画につき3,000円～（1口1,000円×3口以上）

※ガイドマップの発行部数は、毎年皆様から集まった運営協力金や賛同人からのカンパで作成可能な部数を印刷しています。ご協力よろしく申し上げます。

7. 相談・説明会、直接申し込みについて： 芸工展カフェの開催（予定）

例年、芸工展事務局では参加に関する相談・説明会を「芸工展カフェ」と名付けて数日開催しています。2026年の予定は下記のとおりです。

- ① 5/31（日）12:00～16:00（会場:ギャラリーTEN）【申込スタート】
- ② 7/5（日）12:00～16:00（会場:ギャラリーTEN）
- ③ 7/26（日）12:00～16:00（会場:ギャラリーTEN）【最終締切日】

※上記日程では、参加申し込みの受付も行う予定です。

8. 芸工展公式サイト： <https://www.geikoten.net/>

芸工展に関する情報のポータルサイトです。参加者への情報、企画・展示に関するご案内等を随時更新して行く予定です。

※芸工展公式アカウントのSNS(フェイスブック、インスタグラム等)との連動も予定しています。

9. 来場者に向けての広報（予定）：

- ・ 会場エリアのガイドマップ作成・印刷・配布
- ・ ネットでの情報公開・告知
- ・ 会場を示すオレンジの手ぬぐい

☆各項目の詳細については、募集要項をご覧ください。か、芸工展カフェにてご相談ください。

第34回 芸工展 2026「まちかど展覧会」募集要項 まちかど展覧会出展者向け (2/4)

今年も10月1日～31日の1ヶ月間開催する芸工展「まちかど展覧会」への出展企画を募集します。表現を通じてまちの魅力を再発見したい方、まちと人と交流したい方、ぜひ参加をご検討ください。

別紙「第34回 芸工展 2026 開催概要」もあわせてご参照ください。

1. 芸工展とは

芸工展は「まちの魅力を再発見と表現を通じた交流」を趣旨として、1993年より長きにわたり市民が自発的に続けてきたまちづくり活動です。

芸工展会期となる10月は、谷中・根津・千駄木・池之端・日暮里界隈の地域に暮らす人、様々な職人、芸術家、アーティスト、まちの店主、学生等、一人ひとりが表現の場をまちなかで開き、緩やかにつながることで、まち全体が一つの展覧会場となります。

出展方法や会場も多様です。ギャラリーやカフェ、自宅での展示やワークショップ、工房開放、まちあるきや原っぱでのイベント、路上ライブなどなど、企画次第で無限の可能性が広がる展覧会です。

2. 会期 2026年10月1日～10月31日

※まちかど展覧会の実施日は各出展者が企画ごとに期間を決定します。長期も単発もあります。

3. エリア 谷中・根津・千駄木・池之端・上野桜木・日暮里界隈

4. 出展対象

どなたでも出展いただけます。

*会場はご自身で用意いただくことになります。

*会場を探している方へ：芸工展カフェにて相談を承ります。

5. 出展条件

(ア) 1の芸工展の主旨に賛同できること (イ) 運営協力金の納付 (※詳細は後述)

6. 参加申込方法・期間 2026年5月31日(日)～7月26日(日)まで

【申込みフォーム】

<https://forms.gle/pjGuV2krx2nKVf4E7>



7. 運営協力金

出展1企画につき3,000円～(一口1,000円×3口以上)

※ガイドマップの発行部数は、毎年皆様から集まった運営協力金や賛同人からのご寄付(カンパ)で作成可能な部数を印刷しています。ご協力よろしくお願ひします。

8. 芸工展カフェ(企画相談・説明会、直接申込)について

例年、芸工展事務局では参加に関する相談・説明会を「芸工展カフェ」と名付けて数日開催しています。

2026年の予定は下記のとおりです。

- ① 5/31(日) 12:00～16:00(会場:ギャラリーTEN)【申込スタート】
- ② 7/5(日) 12:00～16:00(会場:ギャラリーTEN)
- ③ 7/26(日) 12:00～16:00(会場:ギャラリーTEN)【最終締切日】

※上記日程では、参加申し込みの受付も行う予定です。

フリマも同時開催!!
皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。

相談・説明会では、芸工展事務局メンバーに企画のご相談や直接申込を行うことができます。
パソコン操作が不得手な方の申込みサポートも行っています。ぜひお気軽にお越しください。

9. 芸工展公式サイト <https://www.geikoten.net/>

芸工展に関する情報のポータルサイトです。参加者への情報、企画・展示に関するご案内等を随時更新して行く予定です。芸工展公式アカウントのSNS(フェイスブック、インスタグラム、X(旧:Twitter))との連動も予定しています。

10.出展特典・運営協力金振込時の諸注意

〈出展特典〉

- ・まちかど展覧会出展企画は、芸工展ガイドマップやホームページ等に企画内容を掲載し広報します
参考:昨年度の芸工展「まちかど展覧会」マップはこちら <https://www.geikoten.net/2025/09/12/4735/>
- ・まちの葉味立て看板に企画リーフレット（原則ハガキサイズ）を貼ることができます
- ・芸工展を通じてまちの人と交流の機会を得られます

〈運営協力金振込時の諸注意〉

7月末までに下記、みずほ銀行の芸工展口座にご入金をお願い致します。

銀行名	みずほ銀行	支店名	根津支店	種類	普通
口座番号	1715577	口座名義	谷中芸工展（ヤナカゲイコウテン）		

※ガイドマップの発行部数は、毎年皆様から集まった運営協力金や賛同人からのカンパで作成可能な部数を印刷しています。ご協力よろしくお願ひします。

※カンパの例（3口）3,000円／（4口）4,000円／（5口）5,000円

※「まちかど展覧会」出展者として振り込む場合は、振込者名義欄で出展者であることがわかるようにしてください。

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担願ひします。

11.申込後のスケジュール（※現時点の予定です。変更の可能性があります。）

- 8月中のいずれか：地図情報の校正作業・不備照会（対面 or オンライン）
- 8月下旬：ガイドマップの入稿（予定）
- 9/6（日）：ガイドマップの納品と配布、まちの葉味立て看板へのチラシ掲示
- 10/1～10/31：第34回 芸工展 2026 開催

12.芸工展賛同人（サポーター）の募集

芸工展運営には、役割としては以下のような内容があります。今年は、少しお手伝いできます！という役割がありましたら芸工展事務局までメールにてご連絡ください。

- HP・メール・SNSの運営
- まちかど展覧会への出展の呼びかけ
- 相談・説明会対応
- ガイドマップの制作、校正
- 納品されたマップの仕分け・配布
- 各まちかど展覧会の周知協力
- 芸工展カンパ箱の設置協力

その他、「芸工展」を持続的な活動としていくための方策を事務局メンバーと一緒に検討して下さる方を募っています。関心のある方は、芸工展事務局へお問い合わせください。

芸工展事務局

〒113-0022 文京区千駄木 5-17-3 谷根千記憶の蔵（※常駐しておりません）

E-mail: geikoten@gmail.com

HP: <http://www.geikoten.net>

* 芸工展公式 SNS もフォローください！

Facebook: <https://www.facebook.com/geikoten/>

Instagram: <https://www.instagram.com/geikoten/>

X (旧:Twitter): <https://twitter.com/geikoten/>

芸工展賛同人 Facebook グループ: <https://www.facebook.com/groups/2381247348864108>

第34回 芸工展 2026 開催にあたって

これまでの長き月日を経て、芸工展の当初からの願いである、「まちの魅力の再発見」や「表現を通じた交流」を大切にしまちの人たちの動きが、いまや日常的にあちこちで見られるようになりました。

全国各地で再開等により、まちの風景が移り変わるなか、谷根千界限もその影響を受けているものの、一人ひとりによる暮らしを大切にする試みや地域に根ざしたこうした活動が自発的に生まれている状況は、希望であり、心強く思っています。

この間、芸工展の運営にもさまざまな変化がありました。当初は「まちづくりグループ 谷中学校」メンバーが中心的な役割を担う形でスタートし、第2回からは運営を住民に開く実行委員会形式で開催。ながらくその実行委員会の形態を取って続けてきました。

その後、25周年を迎えた頃から、実行委員と参加者の垣根を無くしていくため、主催を「芸工展賛同人一同」とし、「まちかど展覧会出展者」と「旧芸工展実行委員会」が一つになり、芸工展の運営母体を担っています。

この「誰もが真ん中に立つことのできる緩やかなありよう」は、芸工展の持ち味なのかもしれません。

一方、課題もあります。

それは、「運営資金」と「運営する人」のことです。一人ひとりが「やれるときに、やれる人が、やれることを」自発的に、また自分らしく芸工展に関わることのできる開かれた仕組みづくりは今もなお途上です。

いかにして、この地域に受け継がれてきた、類まれなこの緩やかな表現をまちに開く場「芸工展」を、未来に引き渡していくことができるでしょうか…

世界的に日常の平和の大切さが叫ばれている昨今です。

近年、社会全体が距離を置いてしまった表現や交流をきっかけにつながりを日常のなかに取り戻し、編み直していく、そんな試みが大切になる時期であると思っています。

これからも皆さまと共に考え、共にできることに取り組んで参りたいと思っています。ご賛同・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2026年4月
芸工展事務局

芸工展カフェ会場マップ

●ギャラリーTEN



住所：〒110-0001 東京都台東区谷中2丁目4-2

<http://galleryten.org/ten/>

アクセス：地下鉄千代田線根津駅より徒歩7分

○芸工展事務局

「谷根千 記憶の蔵」について
東京都文京区の路地の奥に佇む大正時代の古い蔵を
地域の団体や個人と共に管理・活用しています。



住所 〒113-0022 文京区千駄木5-17-3 谷根千記憶の蔵
(※常駐しておりません)

